

2013（平成25）年度

事業報告書



----- 目 次 -----

I. 法人の概要

1. 建学の理念・教育理念	1
2. 設置する学部・学科等	1
3. 沿革	2
4. 入学定員と学生数の状況	3
5. 役員・教職員の概要	4

II. 事業の概要

1. 教育及び学生支援活動	6
2. 研究活動	7
3. 診療活動	8
4. 社会貢献・連携	9
5. 生涯学習	10
6. 国際交流	10
7. 広報活動	12
8. 経営管理	12
9. 施設設備	12
10. 「2020行動計画」の推進	12
11. 基礎データ	13

III. 財務の概要

1. 経年比較	26
2. 2013年度決算の概要	28
3. 財産目録の概要	31
4. 財務比率の推移	32

学校法人 東日本学園

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

北海道医療大学

当別キャンパス

大学院薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科
リハビリテーション科学研究科

薬学部・歯学部・看護福祉学部・リハビリテーション科学部
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

札幌あいの里キャンパス

大学院心理科学研究科・心理科学部

〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757番地

I. 法人の概要

1. 建学の理念・教育理念

(1) 建学の理念

1974年 本学の創設にあたり、大野精七初代学長は『「知育・徳育・体育」の三位一体による医療人としての全人格の完成』を建学の理念として提唱しました。

(2) 教育理念・教育目標

富田喜内第3代学長は、「生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献すること」を教育理念として定め、教育目標を次の通りとしました。

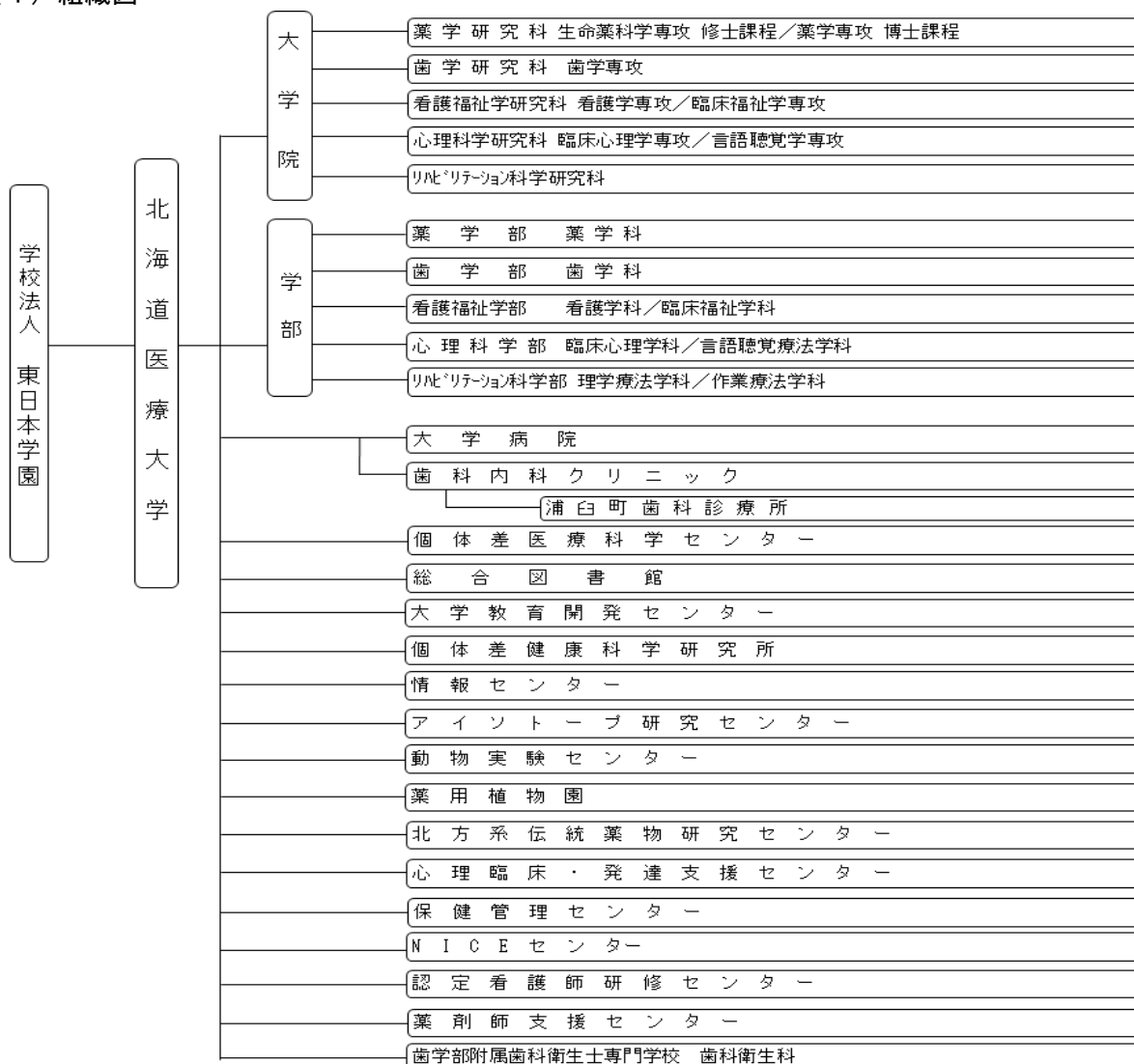
- ・ 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
- ・ 自主性・創造性および協調性の確立
- ・ 確かな専門の知識および技術の修得
- ・ 地域社会ならびに国際社会への貢献

(3) 行動指針・目標

廣重 力第4代学長は、『本学園に対する社会の要請と期待に応えるため、社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、常に組織としての自立性・透明性を高めながら、構成員一人ひとりが自主性・創造性を発揮することにより「学生中心の教育」並びに「患者中心の医療」を推進しつつ、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追及すること』を行動指針としました。また『「文理統合をベースにした個体差健康科学—これによる個体差医療の実践」を目指す若者たち』を新医療人として定義し、「新医療人育成の北の拠点を目指して」を新たな行動目標としました。

2. 設置する学部・学科等

(1) 組織図



(2) 所在地

- 当別キャンパス：大学院薬学研究科・歯学研究科・看護福祉学研究科・リハビリテーション科学研究科／薬学部・歯学部・看護福祉学部・リハビリテーション科学部／歯科内科クリニック・歯科衛生士専門学校・総合図書館・個体差健康科学研究所・認定看護師研修センター・薬剤師支援センター
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757 番地
- 札幌あいの里キャンパス：大学院心理科学研究科／心理科学部／大学病院・個体差医療科学センター・心理臨床・発達支援センター
〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里 2 条 5 丁目
- 札幌サテライトキャンパス
〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 12 階
- 石狩キャンパス：茨戸教育研修センター
〒061-3245 石狩市生振 1246 番地

3. 沿革

1974年 2月	学校法人東日本学園大学設立	2002年 1月	個体差健康科学研究所設置（医科学研究センター廃止）
1974年 4月	薬学部（薬学科・衛生薬学科）開設	2002年 4月	心理科学部（臨床心理学科/言語聴覚療法学科）開設
1978年 4月	歯学部（歯学科）開設	.	看護福祉学部医療福祉学科を臨床福祉学科へ名称変更
1978年 4月	大学院薬学研究科薬学専攻修士課程開設	.	.
1978年12月	歯学部附属病院開設	2003年 6月	心理臨床・発達支援センター設置
1982年 3月	アイソトープ研究センター設置	2004年 3月	札幌医療福祉専門学校閉校
1982年 4月	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程開設	2004年 4月	大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程・博士課程開設
1984年 4月	歯学部附属歯科衛生士専門学校開設	.	大学院心理科学研究科臨床心理学専攻修士課程・博士課程開設
1985年 9月	教養部を当別町に移転・統合	.	.
1986年 4月	薬学専攻科医療薬学専攻開設	2004年 8月	歯の健康プラザ開設
1986年12月	佐々木記念館・総合図書館設置	2005年 4月	認定看護師研修センター設置
1988年 4月	大学院歯学研究科歯学専攻博士課程開設	2005年 7月	大学病院、歯科内科クリニック、個体差医療科学センター開設
1988年12月	動物実験センター設置	.	.
1990年 4月	札幌医療福祉専門学校（看護学科・介護福祉学科）開設	2006年 3月	薬学専攻科医療薬学専攻廃止
1990年10月	医療科学センター医科歯科クリニック開設	2006年 4月	大学院心理科学研究科言語聴覚学専攻修士課程・博士課程開設
1991年 4月	札幌医療福祉専門学校（言語聴覚療法学科）開設	.	薬学部薬学科開設（6年制）
1992年 4月	札幌医療福祉専門学校（言語聴覚療法専攻学科）開設	2007年 4月	大学教育開発センター開設
1993年 4月	看護福祉学部（看護学科/医療福祉学科医療福祉専攻・臨床心理専攻）開設	2008年 4月	看護福祉学部臨床福祉学科教職課程開設
1994年 4月	学校法人名称・大学名称変更（学校法人東日本学園・北海道医療大学） 大学基準協会「維持会員校」として承認	2009年 1月	5大学共同サテライトキャンパス（札幌市中央区）開設（5大学：北海道医療大学・札幌医科大学・室蘭工業大学・小樽商科大学・千歳科学技術大学）
1994年 5月	医科学研究センター設置	2009年 8月	北方系伝統薬物研究センター設置
1994年 6月	茨戸教育研修センター設置	2010年 4月	大学院薬学研究科生命薬科学専攻修士課程開設
1994年10月	20周年記念会館設置	2010年10月	薬剤師支援センター設置
1996年 4月	薬学部総合薬学科開設（学科改組） 大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設 保健管理センター開設	2011年 3月	大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程廃止
1997年 4月	大学院看護福祉学研究科看護学専攻/臨床福祉・心理学専攻修士課程開設	2012年 3月	大学院薬学研究科薬学専攻修士課程廃止
1998年 6月	情報センター設置	2012年 4月	大学院薬学研究科（薬学専攻）博士課程開設
1999年 4月	大学院看護福祉学研究科看護学専攻/臨床福祉・心理学専攻博士課程開設	2013年 3月	薬学部（総合薬学科）廃止（4年制）
2000年 4月	NICE(National and International Collaboration and Extension Center)センター設置	2013年 4月	リハビリテーション科学部（理学療法学科/作業療法学科）開設
2000年12月	学友会館設置	.	大学院リハビリテーション科学研究科（リハビリテーション科学専攻）修士課程開設
2001年 9月	札幌サテライトキャンパス（札幌市中央区）開設	2013年12月	国際交流推進室(Global Networking Office)設置
		2014年 3月	大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（後期3年の課程）廃止
		.	歯科内科クリニック（内科）廃止

4. 入学定員と学生数の状況

(1) 学部

(2013年5月1日現在)

学部	学科	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	在籍学生数
薬学部	薬学科／総合薬学科	160	186	10	9	960	1,107
歯学部	歯学科	80	53	—	4	560	425
看護福祉学部	看護学科／臨床福祉学科	180	219	18	11	756	783
心理科学部	臨床心理学科／言語聴覚療法学科	135	146	12	8	530	595
リハビリテーション科学部	理学療法学科／作業療法学科	120	143	—	—	120	143
学部合計		675	747	40	32	2,926	3,053

(2) 大学院

(2013年5月1日現在)

研究科・専攻・課程		入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数	
薬学研究科	薬学専攻	博士(後期)	—	—	4	1
		博士	3	3	6	5
	生命薬科学専攻	修士	3	1	6	1
歯学研究科	歯学専攻	博士	18	7	72	33
看護福祉学研究科	看護学専攻	修士	15	14	30	38
		博士	2	3	6	7
	臨床福祉学専攻	修士	5	1	10	8
		博士	2	0	6	0
心理科学研究科	臨床心理学専攻	修士	10	10	20	22
		博士	2	3	6	10
	言語聴覚学専攻	修士	5	1	10	2
		博士	2	0	6	0
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	修士	5	5	5	5
大学院合計		72	48	187	132	

(3) 専門学校

(2013年5月1日現在)

学校名	学科	入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
歯学部附属歯科衛生士専門学校	歯科衛生科	50	47	150	117

5. 役員・教職員の概要

(1) 役員・評議員

(2013年5月1日現在)

理 事				評 議 員			
寄附行為 条項	条 文	規定数	現員	寄附行為 条項	条 文	規定数	現員
第7条 第1号	北海道医療大学学長	1人	1人	第21条 第1号	法人の職員で評議員会 選出	5人以上 13人以内	13人
第2号	評議員のうちから評議員 会選任	4人以上 10人以内	6人	第2号	法人の設置する学校を 卒業した25歳以上の 者で理事会選任	5人以上 12人以内	11人
第3号	学識経験者のうちから理 事会選任	2人以上 6人以内	3人	第3号	学識経験者のうちから 理事会選任	5人以内 10人以内	9人
合 計		7人以上 17人以内	10人	合 計		15人以上 35人以内	33人
理事長	東郷 重興						
理 事	新川 詔夫（北海道医療大学学長）、三上 章（サングループ代表取締役） 渡邊 周志（ワタナベ歯科診療所院長）、井口 晴雄（東日本振興株式会社代表取締役社長） 大野 弘機（東日本学園理事）、小野 正道（東日本学園理事） 黒澤 隆夫（北海道医療大学副学長）、小澤 優一（石井法律事務所弁護士） 東郷 重興（東日本学園理事長）、栗田 寛（東日本学園常務理事）						
評議員	黒澤 隆夫、和田 啓爾、斎藤 隆史、野川 道子、中野 倫仁、東城 庸介、辻 昌宏、古市 保志 田隈 泰信、国永 史朗、小田 和明、石川 秀也、飛岡 範至、桂 正俊、麻生 明、村上 睦 松崎 弘明、田中 稔泰、養輪 隆宏、川村 武昭、小畑 友希、本谷 亮、遠藤 朱美 梶 美奈子、小澤 優一、渡邊 周志、三上 章、井口 晴雄、大野 弘機、小野 正道 高橋 憲男、新川 詔夫、川上 智史						
監 事	関藤 正敏、大萱生 哲						

(2) 専任教員等

(2013年5月1日現在)

学部等	専任教員数							専任教員1人 当りの学部 在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員	計		
学長	1						1	-	
副学長	1						1	-	
薬学部	薬学科	16	10	18	18		62	15.4	
	(人間基礎科学)	3	3	4			10		
	計	19	13	22	18		72		
歯学部	歯学科	23	13	26	44	35	141	3.8	助手 は任 期制
	(人間基礎科学)	5					5		
	計	28	13	26	44	35	146		
看護福祉学部	看護学科	9	9	9	15		42	11.3	
	臨床福祉学科	7	4	6	3		20		
	(人間基礎科学)	3	3	1			7		
	計	19	16	16	18		69		
心理科学部	臨床心理学科	7	3	4	1		15	16.1	
	言語聴覚療法学科	6	5		5	1	17		
	(人間基礎科学)	2	1	3			6		
	計	15	9	7	6	1	38		
リハビリテーション 科学部	理学療法学科	5		2	1		8	7.5	
	作業療法学科	2	1	3	1		7		
	(人間基礎科学)	2		1	1		4		
	計	9	1	6	3		19		
個体差医療科学 センター	医学部門	2	3	4			9	-	
	計	2	3	4			9		
個体差健康科学研究所			1				1	-	
歯科衛生士専門学校						5	5	-	
認定看護師研修センター						4	4	-	
合計	94	56	81	89	36	9	365	-	

客員教授			30
臨床助手	I種	病院	2
		クリニック	5
	II種	病院	37
		クリニック	21
	小計		65
特別研究員			0
研修歯科医	大学病院		22
	歯科内科クリニック		19
	小計		41

事務職員・技術職員	
事務局長	1
法人	2
事務局	3
監査室	2
経営企画部	33
学務部	57
広報・教育事業部	17
医療管理部	13
その他	13
合計	141

医療職員		
相談室他	大学病院	2
看護部	大学病院	40
	歯科内科クリニック	3
歯科衛生部	大学病院	21
	歯科内科クリニック	15
歯科技工部	大学病院	5
	歯科内科クリニック	3
放射線部	大学病院	3
	歯科内科クリニック	1
臨床検査部	大学病院	5
	歯科内科クリニック	2
医科部	大学病院	1
歯科部	大学病院	4
地域支援歯科医療科	歯科内科クリニック	2
薬剤部	歯科内科クリニック	1
合計		108

※ 相談役・参与・嘱託職員・契約職員・臨時職員を含む

II. 事業の概要

少子化進行に伴う 18 歳人口の減少に反し、私立大学の設置数は年々増え続けており、学校法人の経営は一層厳しさを増しています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、学生生徒等納付金収入などの有限の財源のほかに、補助金や受託研究費等外部からの資金導入を積極的に図り効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。

2013 年度における主な事業の概要について次のとおり報告します。

1. 教育及び学生支援活動

(1) リハビリテーション科学部（理学療法学科・作業療法学科）の設置

少子高齢化など様々な困難を抱える新たな時代を背景に、保健・医療・福祉分野において貢献する高度なリハビリテーション・スタッフの養成を目的として、2013 年 4 月にリハビリテーション科学部を設置した。

(2) 大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻修士課程（新課程）の設置

リハビリテーション科学部を基礎とする大学院リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻修士課程を、2013 年 4 月に設置した。

高度化、多様化が進む現代の保健・医療・福祉の現場において、先進的な専門知識と技術をもって質の高いリハビリテーションサービスを提供できる高度専門職業人ならびにリハビリテーション領域に関わる最先端の研究を通して培われた創造力・企画力・応用力をもって保健・医療・福祉現場や高等教育機関において指導的役割を担う人材の養成に貢献する。

(3) 札幌医科大学との連携推進

連携協定に基づき、札幌医科大学が実施している地域医療実習に、本学学生が参加するなど、同大学との連携を推進している。

* 地域医療実習：札幌医科大学では地域密着型チーム医療実習として、全学部学科の学生が参加して実施しており、実習地域として離島を含む道内各地域に及んでいる。

<2013 年度 地域医療合同セミナー参加実績>

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	合計
留萌地区	1	-	-	-	-	1
利尻地区	-	2	-	-	-	2
別海・中標津地区	-	-	2	-	2	4
合計	1	2	2	0	2	7

(4) 国家試験対策の充実・支援

教育力向上の一環として、国家試験合格率の向上を図るため、各学部・学科において模擬試験や予備校からの補充講義を充実させた。

(5) 就職・キャリア支援

①学内合同就職相談会の開催

2013 年 10 月に臨床福祉学科、臨床心理学科、言語聴覚療法学科を対象に、北海道内外の病院、一般企業、社会福祉施設、行政機関など、80 団体の参加を得て開催した。

②薬学セミナー（学内合同就職相談会）

2013 年 5 月と 12 月の 2 回、薬学部を対象に道内外の病院、製薬企業、行政機関等の薬剤部門責任者・人事担当者の参加を得て開催した。

（5 月：参加団体 86 団体 約 150 名 12 月：参加団体 134 団体 約 250 名）

(6) 「夢つなぎ入試」の実施

経済的理由により進学が困難な状況にある受験生を対象とした「夢つなぎ入試」を実施した。

(2013 年 5 月 1 日現在)

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハ科学部	衛生士学校	合計
新入生	5	2	4	3	2	2	18
在学学生	12	8	6	6	-	3	35
合計	17	10	10	9	2	5	53

(7) 本学卒業生子女入学奨励制度の実施

本学卒業生の子女や兄弟姉妹で二人目以上の入学者を対象とする「複数入学者奨励金」制度(入学金相当額)、また、本学歯学部卒業生子女の歯学部入学者を対象とする「歯学部教育充実費減免」制度(教育充実費2,000千円減免)を実施した。

(2013年5月1日現在)

(人)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハ科学部	衛生士学校	合計
複数入学者奨励金	32	13	11	4	6	1	67
教育充実費減免	-	10	-	-	-	-	10

(8) 「歯学部特待奨学生」制度の実施

将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持ち、人物・学業成績ともに優れた歯学部入学者に対し、その経済的支援策として、在学中の6年間の学納金を国公立大学の水準以下とする「歯学部特待奨学生」制度を実施した。

(2013年度実績：新入生13名、在学学生17名、合計30名)

(9) 「薬学教育・研究者育成奨学生」制度の実施

本学薬学部を卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する人物・学業成績ともに優れた薬学部入学者に対し、国公立大学の水準とする「薬学教育・研究者育成奨学生」制度を実施した。

(2013年度実績：新入生3名)

(10) 歯学部附属歯科衛生士専門学校生の入学金減免の実施

歯学部附属歯科衛生士専門学校入学者に対する入学金減免制度を実施した。

(2013年度実績：新入生41名)

(11) その他の経済的支援

成績優秀、心身健全で、経済的理由により奨学金の貸与が必要と認められた学生を対象とした「一般奨学生」、父母等学費支弁者が災害、事故等により学費の支弁が著しく困難となった学生で、成績優秀、心身健全である学生に貸与される「災害・事故等奨学生」など、本学独自の奨学制度を実施し、学生の経済的支援に努めた。

<一般奨学生実績> (2013年5月1日現在)

(単位：千円)

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハ科学部	大学院	衛生士学校	合計
人数	59	22	39	27	7	8	5	167
金額	29,500	11,000	19,500	13,500	3,500	5,400	1,650	84,050

2. 研究活動

(1) 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業(分野連携)」採択事業の推進

2012年度に昭和大学(代表校)及び岩手医科大と申請し採択された「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」について年次計画に基づき推進した。

・事業期間：2012(平成24)年度～2016(平成28)年度

(2) 文部科学省「大学改革推進事業(がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)」採択事業の推進

2012年度に札幌医科大学(代表校)、北海道大学及び旭川医科大学と申請し採択された「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」について年次計画に基づき推進した。

・事業期間：2012(平成24)年度～2016(平成28)年度

<申請補助金額>

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	計
①	16,955 (135,000)	16,955 (135,000)	16,955 (135,000)	16,955 (135,000)	16,955 (135,000)	84,775 (675,000)
②	2,662 (37,255)	1,786 (15,901)	1,786 (15,901)	1,786 (15,901)	1,786 (15,901)	9,806 (100,859)
計	19,617 (172,255)	18,741 (150,901)	18,741 (150,901)	18,741 (150,901)	18,741 (150,901)	94,581 (775,859)

()内はプロジェクト全体(共同大学分を含む)補助金額

(3) 外部資金の導入

科学研究費など競争的研究資金へより積極的に申請を行うとともに、寄付金や受託研究など外部資金の導入を図っている。なお、2014年度科学研究費への申請を11月に行った。

<2013年度科学研究費補助金採択件数等実績>

(単位：千円)

新規			継続		合計	
申請件数	内定件数	金額	内定件数	金額	内定件数	金額
136	26	65,260	60	85,228	86	150,488

(4) 重点配分研究費

2013年度において、研究費基礎配付額の30%削減を原資に、重点配分研究費として1,500万円を措置し、競争原理の導入を図り実施した。(重点配分研究費受給者211名)

3. 診療活動

(1) 医療機関収入状況

両医療機関における延患者数と医療収入の実績等は次のとおりである。大学病院では延患者数3,960名増、医療収入48,464千円増と、ともに前年度実績を上回った。歯科内科クリニックは延患者数332名減であったものの、医療収入は1,490千円増と前年度実績を上回った。また、大学病院の病床(24床)稼働率は44.1%(2012年度:43.0%)であった。

なお、2013年度末を以て、歯科内科クリニックの内科は廃止され、2014年4月1日より新たに歯科クリニックと名称が変更となった。

<実績と予算・前年度対比>

(収入単位：千円)

		予算		実績		予算対比		前年度対比	
		延患者数	医療収入	延患者数	医療収入	延患者数	医療収入	延患者数	医療収入
大学病院	外来(医科)	65,784	404,751	68,123	406,689	2,339	1,938	620	4,001
	(歯科)	57,340	332,991	60,761	355,584	3,421	22,593	3,385	33,859
	入院(医科)	3,070	103,618	2,475	104,459	△595	841	△64	△1,591
	(歯科)	1,837	113,749	1,366	103,332	△471	△10,417	153	13,329
	その他	1,735	12,924	2,367	18,722	632	5,798	△134	△1,134
	計	129,766	968,033	135,092	988,786	5,326	20,753	3,960	48,464
歯科内科クリニック	歯科	28,608	162,826	27,004	157,161	△1,604	△5,665	△373	△4,500
	内科	8,880	60,384	9,165	62,760	285	2,376	△57	4,972
	サテライト関係	5,136	34,264	5,094	34,967	△42	703	98	1,190
	その他	—	1,500	—	951	—	△549	—	△172
	計	42,624	258,974	41,263	255,839	△1,361	△3,135	△332	1,490
合計		172,390	1,227,007	176,355	1,244,625	3,965	17,618	3,628	49,954

※その他：人間ドック、特定検診、予防接種他

(2) 研修歯科医受入れ状況

歯科医師臨床研修医は、次の通り受け入れ研修を行った。

医療機関名	定員	受入人数	充足率	備考
大学病院	42	22	52%	本学出身者20名(未修了継続者1名含む)
歯科内科クリニック	74	19	26%	本学出身者18名(未修了継続者1名含む)
合計	116	41	35%	

また、2014年度歯科医師臨床研修医の採用状況は以下の通りである。

医療機関名	プログラム	定員	出願者	マッチ者	採用者
大学病院	A (12ヵ月管理型)	10	91	10	9
	B (8ヵ月協力型 + 4ヵ月管理型)	16	68	11	4
	C (4ヵ月協力型 + 8ヵ月管理型)	16	70	7	5
歯科内科クリニック	A (12ヵ月管理型)	30	85	26	9
	B (8ヵ月協力型 + 4ヵ月管理型)	22	68	6	1
	C (4ヵ月協力型 + 8ヵ月管理型)	22	67	3	1
合 計		116			29

*マッチ者数および採用者数は実数

4. 社会貢献・連携

(1) 公開講座

設定テーマに沿った開講や内容の充実等、一般向、卒業生・職能人向ともに本学の特色を生かした講座を継続的に実施した。

<2013年度公開講座開催結果>

	講座名	講座回数	受講者数
1	がんと向き合うための基礎知識	4回	252名
2	薬草園を見る会	1回	63名
3	漢方・薬用植物研究講座	6回	426名
4	同窓会コラボ☆講演会	1回	148名
5	地域連携セミナー〈あいの里〉	2回	25名
6	地域連携セミナー〈旭川・室蘭〉	4回	42名
7	ちょっと役立つ看護の知恵	5回	164名
8	産後の子育て支援	6回	24名
9	当事者研究実践講座	2回	72名
10	発達障害者支援セミナー	2回	57名
11	当別学講座	6回	117名
12	医療薬学セミナー	10回	275名
13	歯科臨床セミナー	8回	165名
14	看護福祉学部同窓会セミナー	2回	149名
15	臨床心理学科同窓会セミナー	2回	67名
16	言語聴覚療法学科同窓会セミナー	1回	120名
17	歯科衛生士専門学校同窓会セミナー	1回	130名
17 講座		63回	2,296名

(2) 高大連携

社会貢献の一環と位置付け、高大連携事業として、高校からの要請に応じ本学教員を派遣しての模擬講義、および本学にて高校生を受け入れる体験学習やインターンシップを実施した。

<高大連携事業>

		2011年度	2012年度	2013年度	備考
模擬講義	実施校	36	39	44	
	講義数	51	49	59	
体験学習・インターンシップ 他		19	17	17	

5. 生涯学習

- (1) 北海道「福祉・介護人材確保総合対策事業（福祉のしごと魅力アップ事業）」採択事業の推進
中・高校生、高齢者や主婦等の一般の方を対象に、年齢等に応じた進路・就業相談や福祉・介護の仕事の大切さや魅力などを伝えるための福祉・介護体験やセミナー等を実施し、将来にわたって福祉・介護人材の安定的な参入促進を図ることを目的とした当該事業について推進した。
- (2) 薬剤師支援センターにおける認定薬剤師研修の実施
医療現場において、薬剤師が期待される職務を果たすためには、生涯にわたって継続した自己学習・研修が求められる。これら生涯研修を自己責任のもとで行い、常にスキルアップを図る薬剤師を対象として認定薬剤師が制度化されている。2011(平成23)年度に本学認定制度事業(本学薬剤師支援センター)が薬剤師認定制度認証機構より認定され、その制度に関する事業を中心として、医療現場との共同研究の推進及び連携事業を実施した。
- (3) 認定看護師の養成
認定看護師は、「日本看護協会が実施する認定看護師認定審査に合格し、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者」と定義づけられている。本学では、認定看護師研修センターにおいて、現在、皮膚・排泄ケア、感染管理、がん化学療法看護の3分野を開設し、その養成に努めた。
なお2014年度より、がん化学療法分野を休講し、認知症看護分野を開講する予定である。
- (4) 専門看護師の養成
専門看護師は、特定の分野で実践家をサポートできる研究・指導力と、卓越した実践力備えた看護師と定義づけられており、日本看護協会で資格認定を行っている。
本学では大学院看護福祉学研究科で、母性・老年・精神・慢性疾患・がん及び感染の6分野を開設し、その養成に努めた。

6. 国際交流

- (1) 国際交流推進室(Global Networking Office)の設置
海外の大学及び教育研究機関等との国際交流を推進するとともに、学生及び研究者の双方向交流を促進し、国際化を主導する人材の育成を推進することを目的として、2013年12月に国際交流推進室を設置した。
- (2) 大学・学部間交流
本学では、現在、大学間4大学(アルバータ大学・台北医学大学・中南大学・モナッシュ大学)、学部間5大学(同済大学・ニューヨーク州立大学バッファロー校・青島大学・インドネシア大学・ストラスブール大学)と連携協定締結し、教育及び学術における国際交流を推進している。
2013年度は、台北医学大学との短期交流プログラムを薬学部で実施に至り、8月に台北医学大学の学生2名が本学で4週間の研修を行い、2014年3月には本学の学生3名が台北医学大学で2週間の研修を実施した。また、歯学部では2014年3月に学生3名を同済大学へ派遣し、1週間の臨床実習を実施した。
- (3) 語学研修
2013年8月にアルバータ大学、2014年3月にはモナッシュ大学と語学研修を実施した
(参加者数：アルバータ大学13名、モナッシュ大学9名)。

7. 広報活動

募集広報として新聞や進学雑誌などでの広告掲載、またターゲット地域を絞って交通広告を掲出している。ホームページの機能面の拡充、メールマガジン発行など電子媒体の活用、また、オープンキャンパスは年5回(レギュラー4回、キャンパス見学会1回)実施した。

<オープンキャンパス参加者数>

(人)

		2011年度	2012年度	2013年度	備考
大学	生徒	1,464	1,809	1,787	
	保護者	684	947	980	
専門学校	生徒	88	111	115	
	保護者	35	63	48	
合計		2,271	2,930	2,930	

2014年度入試においては、リハビリテーション科学部において、センター試験利用入試を新たに実施した。また、新たに看護福祉学部臨床福祉学科の福祉・介護人材育成奨学生制度を導入し、一般前期入試、センター前期A入試、センター前期B入試にて選考を行った。

<志願状況>

(1) 大学

(人)

学部	学科	募集人員	2013年度	2014年度	前年比	備考
薬学部	薬学科	160	1,059	1,099	103.8%	
歯学部	歯学科	80	342	500	146.2%	
看護福祉学部	看護学科	100	1,459	1,241	85.1%	
	臨床福祉学科	80	633	622	98.3%	
心理科学部	臨床心理学科	75	726	811	111.7%	
	言語聴覚療法学科	60	630	700	111.1%	
リハビリテーション科学部	理学療法学科	80	670	986	147.2%	
	作業療法学科	40	618	990	160.2%	
大学計		675	6,137	6,949	113.2%	

(2) 大学／編入学

(人)

学部	学科	募集人員	2013年度	2014年度	前年比	備考
薬学部	薬学科	10	13	21	161.5%	
歯学部	歯学科	-	5	14	280.0%	
看護福祉学部	看護学科	9	9	3	33.3%	
	臨床福祉学科	9	3	2	66.7%	
心理科学部	臨床心理学科	2	3	1	33.3%	
	言語聴覚療法学科	10	8	4	50.0%	
リハビリテーション科学部	理学療法学科	5	-	4	-	
	作業療法学科	5	-	1	-	
大学計		50	41	50	122.0%	

(3) 大学院

(人)

研究科	専攻	課程	募集人員	2013年度	2014年度	前年比	備考
薬学研究科	薬学専攻	博士	3	3	4	133.3%	
	生命薬科学専攻	修士	3	1	0	-	
歯学研究科	歯学専攻	博士	18	7	11	157.1%	
看護福祉学 研究科	看護学専攻	修士	15	18	20	111.1%	
		博士	2	4	6	150.0%	
	臨床福祉学専攻	修士	5	1	6	600.0%	
		博士	2	0	0	-	
心理科学 研究科	臨床心理学専攻	修士	10	21	19	90.5%	
		博士	2	5	2	40.0%	
	言語聴覚学専攻	修士	5	1	0	-	
		博士	2	0	0	-	
リハビリテーション科学 研究科	リハビリテーション科学 専攻	修士	5	5	5	100.0%	
大学院計			72	66	73	110.6%	

(4) 専門学校

(人)

学校名	募集人員	2013年度	2014年度	前年比	備考
歯学部附属歯科衛生士専門学校	50	52	60	115.4%	

8. 経営管理

(1) 予算の効率的運用・削減

各部局に配布された予算の執行にあたって、事業計画に優先順位を付し、効率的な執行・削減に努めた。

9. 施設設備

(1) リハビリテーション科学部設置に伴う研究用備品の整備(153,305千円)

年次計画に基づき、リハビリテーション科学部における研究用備品を整備した。

(2) 大学病院、歯科内科クリニックにおいて、新医療情報システムの構築及び整備(160,000千円)

2013年7月から構築に着手し、2014年3月に完了した。

(3) 各学部講義室及び実習室等の空調設置工事(40,004千円)

薬学部・歯学部・看護福祉学部における講義室及び実習室を年次計画により実施した。

(4) 遠隔地授業配信システム設置工事(7,350千円)

社会人学生への利便性配慮の観点から、大学から離れた場所でも受講可能なe-learningシステムを導入した。

(5) マルチメディア教育システム機器の更新(52,066千円)

各学部講義室におけるマルチメディア教育システム機器を年次計画により更新した。

10. 「2020行動計画」の推進

(1) 人間力教育の向上プロジェクト

就職キャリア支援として、定期的な就職相談会を実施(5月、10月、12月)し、内定確保に努力した。また授業改善と教育力向上を目的として、授業公開(前期24科目、後期12科目)を実施した。教育改革の成果を公表・共有し、学部並びに大学全体の教育力向上に努めた。

(2) 医療機関経営の健全化プロジェクト

医療機関健全化プロジェクトによる具体的実施案に基づき、引き続き収支改善に努めた。

(3) キャンパス再構築プロジェクト

歯科内科クリニックの内科を廃止し、歯科診療部門の再編の検討を進めた。また、リハビリテーションセンター等設置計画検討WG、高齢者ケアセンター等設置計画検討WG及び学生福利厚生施設等設置計画検討WGにて計画の策定を進めた。

(4) 経営管理プロジェクト

人件費削減に向けた諸手当の見直しについて引き続き検討した。

11. 基礎データ

(1) 入学試験結果

① 大学

学部／学科名	入試区分	2014年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学部 薬学科	AO方式	17	47	47	26	1.8	26
	一般推薦	20	24	24	20	1.2	20
	指定校特別推薦	25	47	47	47	1.0	47
	センター前期A	15	267	267	64	4.2	18
	センター前期B	10	130	130	40	3.3	11
	一般前期 1/30	65	242	235	110	3.8	41
	一般前期 1/31		189	179			
	センター後期	3	56	56	16	3.5	4
	一般後期	5	97	91	17	5.4	9
薬学部計		160	1,099	1,076	340	3.2	176
歯学部 歯学科	AO方式	20	15	15	15	1.0	13
	一般推薦	8	1	1	1	1.0	1
	指定校特別推薦	8	0	-	-	-	-
	センター前期A	5	166	166	150	1.1	22
	センター前期B	3	62	62	58	1.1	4
	一般前期 1/30	25	60	57	65	1.6	6
	一般前期 1/31		51	46			
	センター後期	2	35	35	34	1.0	5
	一般後期	4	37	32	28	1.1	7
一般後期B	5	73	71	63	1.0	13	
歯学部計		80	500	485	414	1.2	71
看護福祉学部 看護学科	AO方式	6	37	37	10	3.7	9
	一般推薦	16	44	44	21	2.1	21
	指定校特別推薦	16	28	28	28	1.0	28
	センター前期A	8	226	226	54	4.2	8
	センター前期B	6	95	95	30	3.2	3
	一般前期 1/30	40	378	364	103	6.6	32
	一般前期 1/31		331	316			
	センター後期	3	25	25	11	2.3	1
	一般後期	5	77	75	14	5.4	8
学科計		100	1,241	1,210	271	4.5	110
看護福祉学部 臨床福祉学科	AO方式	15	4	4	4	1.0	4
	一般推薦	10	0	-	-	-	-
	指定校特別推薦	14	9	9	9	1.0	8
	センター前期A	6	119	119	102	1.2	12
	センター前期B	4	91	91	90	1.0	13
	一般前期 1/30	23	163	160	179	1.7	17
	一般前期 1/31		147	142			
	センター後期	3	39	39	39	1.0	3
	一般後期	5	50	49	47	1.0	3
学科計		80	622	613	470	1.3	60
看護福祉学部計		180	1,863	1,823	741	2.5	170

心理科学部 臨床心理学科	一般AO方式	10	19	19	16	1.2	16
	一般推薦	10	5	5	4	1.3	4
	指定校特別推薦	10	8	8	8	1.0	8
	センター前期A	8	150	150	64	2.3	8
	センター前期B	6	121	121	59	2.1	9
	一般前期 1/30	24	212	209	132	2.9	21
	一般前期 1/31		183	175			
	センター後期	3	49	49	38	1.3	3
	一般後期	5	64	60	39	1.5	6
	学科計	75	811	796	360	2.2	75
心理科学部 言語聴覚療法学科	AO方式	12	18	18	15	1.2	14
	一般推薦	7	5	5	4	1.3	4
	指定校特別推薦	7	20	20	20	1.0	19
	センター前期A	8	131	131	61	2.1	7
	センター前期B	6	88	88	49	1.8	8
	一般前期 1/30	14	177	173	85	3.9	8
	一般前期 1/31		162	157			
	センター後期	2	39	39	16	2.4	1
	一般後期	4	60	58	15	3.9	4
	学科計	60	700	689	265	2.6	65
心理科学部計		135	1,511	1,485	625	2.4	140
リハビリテーション科学部 理学療法学科	AO方式	10	47	47	13	3.6	13
	一般推薦	10	30	30	20	1.5	19
	指定校特別推薦	10	7	7	7	1.0	7
	センター前期A	7	190	190	32	5.9	10
	センター前期B	6	150	150	24	6.3	1
	一般前期 1/30	30	254	253	65	6.8	26
	一般前期 1/31		192	191			
	センター後期	3	51	51	9	5.7	1
	一般後期	4	65	64	10	6.4	6
	学科計	80	986	983	180	5.5	83
リハビリテーション科学部 作業療法学科	AO方式	5	24	24	8	3.0	8
	一般推薦	5	13	13	8	1.6	8
	指定校特別推薦	5	2	2	2	1.0	2
	センター前期A	4	200	200	51	3.9	3
	センター前期B	3	130	130	31	4.2	3
	一般前期 1/30	14	275	270	83	6.0	17
	一般前期 1/31		230	225			
	センター後期	2	43	43	15	2.9	1
	一般後期	2	73	70	10	7.0	2
	学科計	40	990	977	208	4.7	44
リハビリテーション科学部計		120	1,976	1,960	388	5.1	127

全学部合計	AO方式	95	211	211	107	2.0	103
	一般推薦	86	122	122	78	1.6	77
	指定校特別推薦	95	121	121	121	1.0	119
	センター前期A	61	1,449	1,449	578	2.5	88
	センター前期B	44	867	867	381	2.3	52
	一般前期 1/30	235	1,761	1,721	822	3.8	168
	一般前期 1/31		1,485	1,431			
	センター後期	21	337	337	178	1.9	19
	一般後期	33	523	499	180	2.8	45
	一般後期B	5	73	71	63	1.1	13
	合 計	675	6,949	6,829	2,508	2.7	684

② 編入学

学部／学科名	入試区分		2014年度					
			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学部 薬学科	一期	社会人	7	3	3	2	1.5	2
		一般		12	11	4	2.8	4
	二期	社会人	3	1	1	0	-	-
		一般		5	5	3	1.7	3
	薬学部計			10	21	20	9	2.2
歯学部 歯学科	一期	一般	若干名	7	7	7	1.0	6
	二期	一般	若干名	7	6	6	1.0	3
	歯学部計			若干名	14	13	13	1.0
看護福祉学部 看護学科	一期	社会人	6	0	-	-	-	-
		一般		2	2	2	1.0	2
	二期	社会人	3	1	1	1	1.0	1
		一般		0	-	-	-	-
	学科計			9	3	3	3	1.0
看護福祉学部 臨床福祉学科	一期	社会人	6	0	-	-	-	-
		一般		2	2	2	1.0	2
		指定校		0	-	-	-	-
	二期	社会人	3	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
		指定校		0	-	-	-	-
	学科計			9	3	2	2	1.0
看護福祉学部計			18	5	5	5	1.0	5
心理科学部 臨床心理学科	一期	社会人	2	1	1	1	1.0	1
		一般		0	-	-	-	-
	二期	社会人	若干名	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
学科計			2	1	1	1	1.0	1
心理科学部 言語聴覚療法学科	一期	社会人	7	0	-	-	-	-
		一般		2	2	1	2.0	1
	二期	社会人	3	1	1	1	1.0	1
		一般		1	1	1	1.0	0
	学科計			10	4	4	3	1.3
心理科学部計			12	5	5	4	1.3	3
リハビリテーション科学部 理学療法学科	一期	社会人	3	1	1	0	-	0
		一般		0	-	-	-	-
	二期	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		3	3	1	3.0	1
学科計			5	4	4	1	4.0	1
リハビリテーション科学部 作業療法学科	一期	社会人	3	1	1	0	-	0
		一般		0	-	-	-	-
	二期	社会人	2	0	-	-	-	-
		一般		0	-	-	-	-
	学科計			5	1	1	0	-
リハビリテーション科学部計			10	5	5	1	5.0	1
大学合計			50	50	48	32	1.5	27

③ 専門学校

学校／学科名	入試区分	2014年度					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
歯科衛生士専門学校 歯科衛生科	A O方式	20	49	48	48	1.0	44
	一般推薦	17	2	2	2	1.0	2
	一般前期A	5	0	-	-	-	-
	一般前期B	5	1	1	1	1.0	0
	一般後期	3	8	6	6	1.0	2
	合計	50	60	57	57	1.0	48

④ 大学院

研究科	専攻	課程	入試区分	2014年度					
				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	入学者数
薬学研究科	薬学専攻	博士	一般	3	3	3	3	1.0	3
			社会人		1	1	1	1.0	1
	博士課程計			3	4	4	4	1.0	4
	生命薬科学専攻	修士	一般	3	0	-	-	-	-
			社会人		0	-	-	-	-
修士課程計			3	0	0	0	0	0	
薬学研究科合計			6	4	4	4	1.0	4	
歯学研究科	歯学専攻	博士	一般	18	11	11	11	1.0	10
			社会人		-	-	-	-	-
歯学研究科合計			18	11	11	11	1.0	10	
看護福祉学研究科	看護学専攻	博士	一般	2	6	6	4	1.5	4
	臨床福祉学専攻	博士	一般		2	0	-	-	-
	博士課程計			4	6	6	4	1.5	4
	看護学専攻	修士	一般	15	8	8	6	1.3	6
			社会人		12	12	12	1.0	12
			専攻計		15	20	20	18	1.1
	臨床福祉学専攻	修士	一般	5	4	4	3	1.3	3
			社会人		2	2	2	1.0	2
専攻計			5		6	6	5	1.2	5
看護福祉学研究科合計			24	32	32	27	1.2	27	
心理科学研究科	臨床心理学専攻	博士	一般	2	2	2	2	1.0	2
	言語聴覚学専攻	博士	一般		0	-	-	-	-
	博士課程計			4	2	2	2	1.0	2
	臨床心理学専攻	修士	学内推薦	10	6	6	3	2.0	3
			一般		13	13	7	1.9	7
			社会人		0	-	-	-	-
			専攻計		10	19	19	10	1.9
	言語聴覚学専攻	修士	一般	5	0	-	-	-	-
社会人			0		-	-	-	-	
専攻計			5		0	-	-	-	
心理科学研究科合計			19	21	21	12	1.8	12	

リハビリテーション科学 研究科	リハビリテーション科学 専攻	修士	一般	5	1	1	1	1.0	1
			社会人		4	4	4	1.0	4
	リハビリテーション科学研究科合計			5	5	5	5	1.0	5
大 学 院 計				72	73	73	59	1.2	58

(2) 修了生・卒業生数

学校名	研究科・学部等	修了・卒業生数		備考
		2013年度	累計	
北海道医療大学	薬学研究科修士課程	-	493	論文博士 7名(内数)
	博士課程	8	53	
	歯学研究科博士課程	6	278	
	看護福祉学研究科修士課程	17	356	
	博士課程	-	28	
	心理科学研究科修士課程	10	116	
	博士課程	1	11	
	大学院計	42	1,335	
	薬学部	140	5,086	
	歯学部	74	2,997	
看護福祉学部	169	3,909		
心理科学部	126	1,085		
学部計	509	13,077		
歯学部附属歯科衛生士専門学校		36	1,379	
総計		587	15,791	

(2014年3月31日現在)

(3) 国家試験

(%)

種別	区分	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
薬剤師	新卒	33.3	0.0	95.9	86.3	77.2
	総数	57.0	39.5	84.5	79.2	67.8
	全国平均	56.4	44.4	88.7	79.1	60.8
歯科医師	新卒	75.7	75.3	82.3	85.4	77.0
	総数	60.8	63.5	65.0	73.3	65.1
	全国平均	69.5	71.0	71.1	71.2	63.3
看護師	新卒	97.0	100.0	92.7	94.4	97.2
	総数	-	-	-	-	-
	全国平均	89.5	91.8	90.1	88.8	89.8
保健師	新卒	83.8	96.0	91.0	99.1	96.3
	総数	-	-	-	-	-
	全国平均	86.6	86.3	86.0	96.0	86.5
社会福祉士	新卒	33.8	38.8	39.4	15.1	39.2
	総数	24.7	30.6	22.3	9.6	26.8
	全国平均	27.5	28.1	23.9	17.2	25.2
精神保健福祉士	新卒	65.0	66.7	53.6	41.7	42.1
	総数	55.2	50.0	42.1	30.4	24.2
	全国平均	63.3	58.3	50.6	46.7	50.1
言語聴覚士	新卒	89.4	100.0	85.7	96.9	85.1
	総数	85.7	96.6	80.3	78.0	80.0
	全国平均	64.8	69.3	73.6	76.1	82.0
歯科衛生士	新卒	100.0	100.0	-	100.0	100.0
	総数	100.0	100.0	-	100.0	100.0
	全国平均	97.2	96.5	-	-	-

(4) 進路状況

① 求人件数

(社)

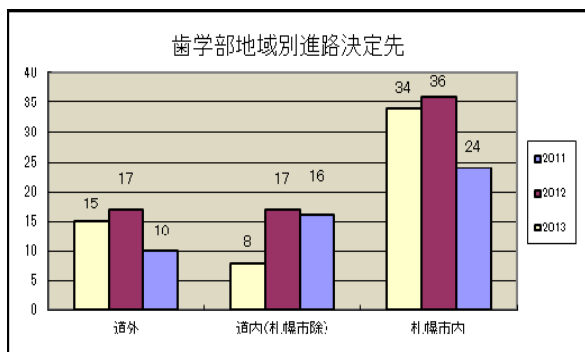
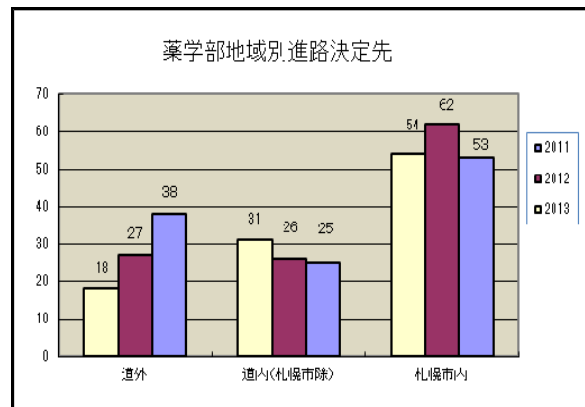
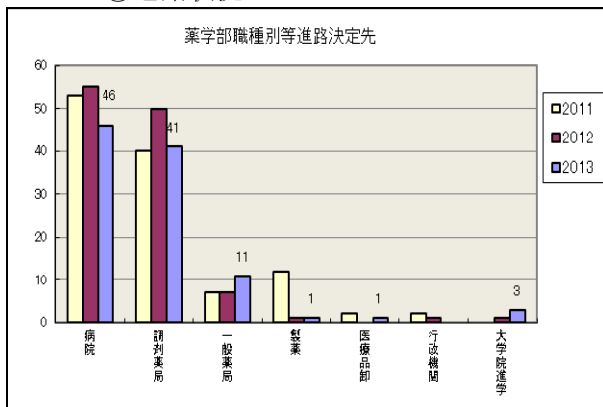
求人先	2011年度	2012年度	2013年度
病院	1,030	1,110	1,198
診療所	456	520	563
社会福祉施設	261	270	272
介護老人保健施設	52	55	54
社会福祉協議会	9	17	21
公務員(行政機関)	138	159	188
一般企業	442	387	406
教育機関	12	18	19
その他	10	10	12
合計	2,410	2,546	2,733

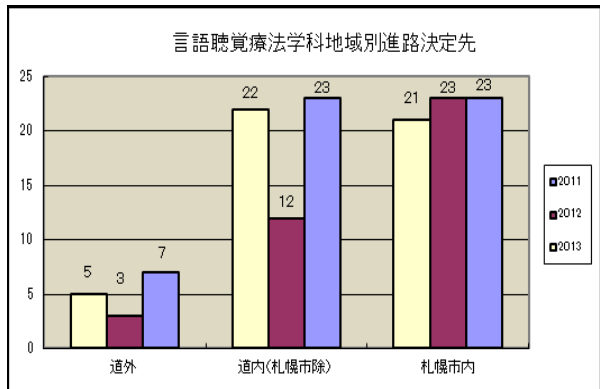
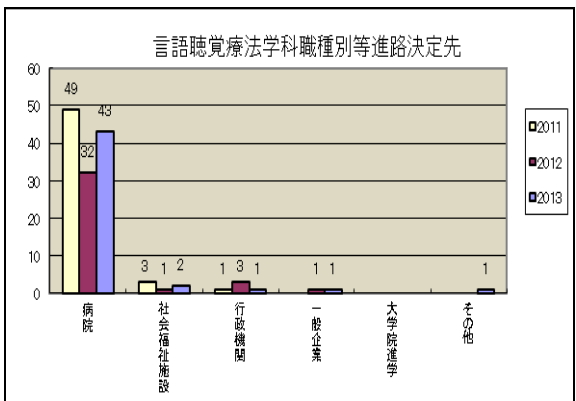
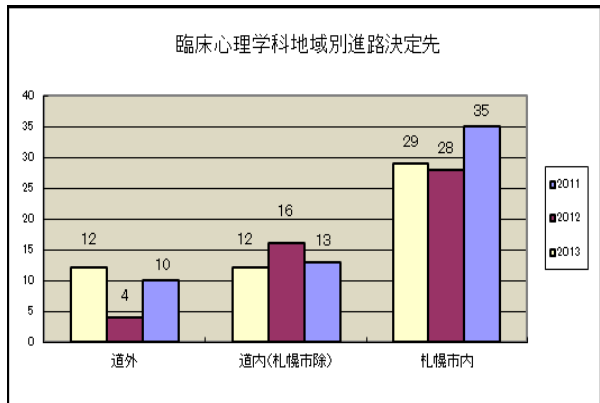
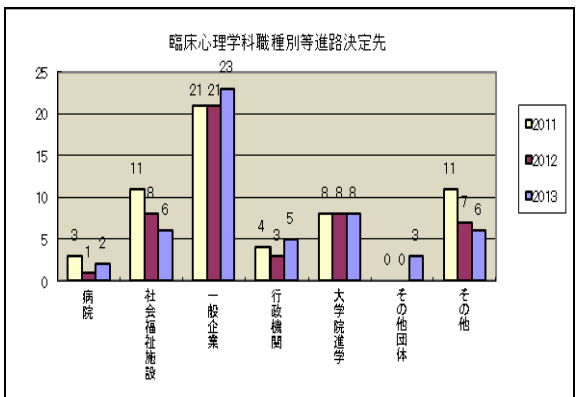
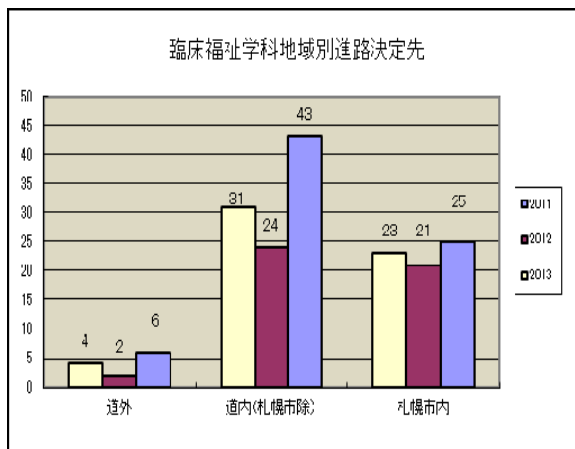
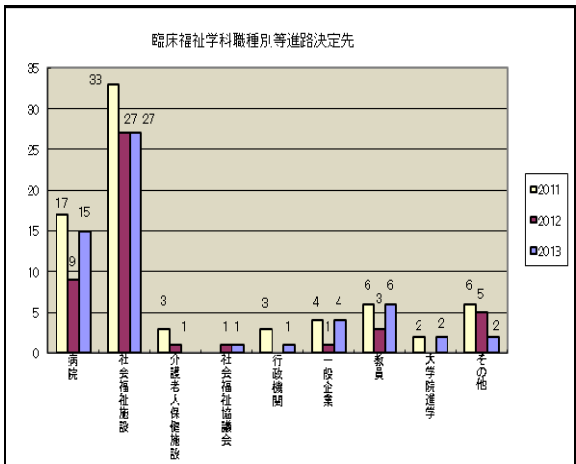
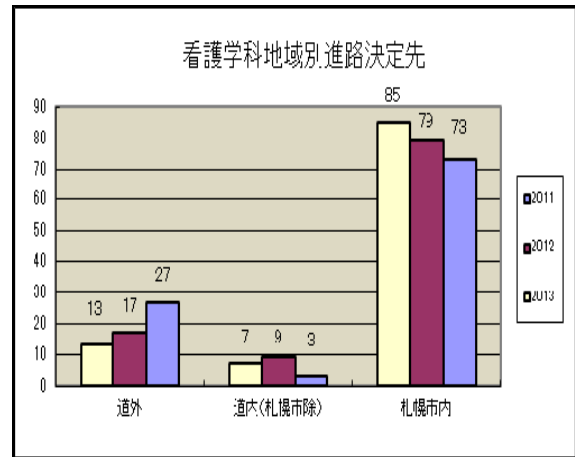
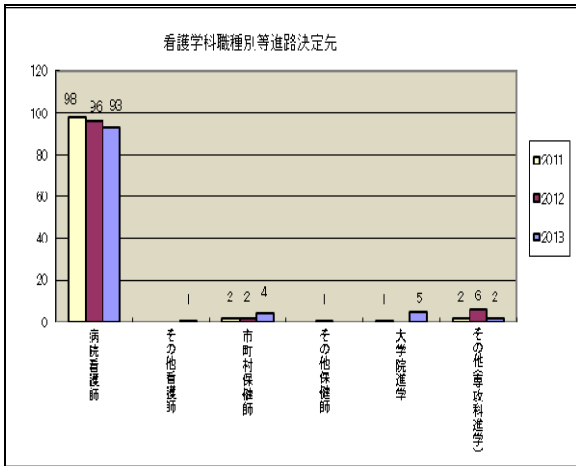
② 求人数

(人)

求人先	2011年度	2012年度	2013年度
歯科医師	580	572	604
歯科衛生士	315	339	450
薬剤師	5,049	5,510	5,341
MR・研究・開発	196	107	166
看護師	19,688	19,720	19,992
保健師	180	190	154
福祉施設相談員等	520	535	569
MSW(医療ソーシャルワーカー)	105	130	104
PSW(精神保健福祉士)	68	58	64
介護職員	1,863	1,560	1,559
心理職	58	65	53
言語聴覚士	610	655	756
一般事務	180	89	71
その他	2,592	2,353	2,472
合計	32,004	31,883	32,355

③ 進路状況





(5) 学納金

2013年度の学納金は、次のとおりです。2012年度学部入学生から初年度納入額の引き下げを行い、学費負担者の経済的負担の軽減を図るとともに、各年度の納入額の均等化を行いました。

① 大学 (2013年度入学生対象)

(単位：円)

学部名	入学金	授業料	初年度納入金	2年次以降授業料	教育充実費	卒業迄の納入金	他大学平均(卒業迄)
薬学部 (6年制)	300,000	1,600,000	1,900,000	1,900,000	-	11,400,000	11,852,157
歯学部	300,000	3,800,000	4,100,000	4,100,000	*4,000,000	28,600,000	27,420,588
看護福祉学部 看護学科	300,000	1,200,000	1,500,000	1,500,000	-	6,000,000	6,296,905
看護福祉学部 臨床福祉学科	300,000	900,000	1,200,000	1,200,000	-	4,800,000	4,294,793
心理科学部 臨床心理学科	300,000	900,000	1,200,000	1,200,000	-	4,800,000	4,330,755
心理科学部 言語聴覚療法学科	300,000	1,200,000	1,500,000	1,500,000	-	6,000,000	6,016,800
リハビリテーション科学部 理学療法学科	300,000	1,025,000	1,325,000	1,325,000		5,300,000	6,128,000
リハビリテーション科学部 作業療法学科	300,000	1,025,000	1,325,000	1,325,000		5,300,000	6,136,522

※歯学部教育充実費は3年次以降各年度100万円。 他大学平均(卒業迄)は本学調査による。

② 大学院 (2013年度入学生対象)

(単位：円)

研究科名	入学金	授業料	初年度納入金	修了迄の納入金	他大学平均(修了迄)	
薬学研究科 (修士課程)	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,591,091
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,762,227
薬学研究科 (博士課程)	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	3,000,000	3,083,357
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	3,200,000	3,385,012
歯学研究科 (博士課程)	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	3,000,000	2,880,000
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	3,200,000	3,190,526
看護福祉学研究科 (修士課程) 【看護学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	2,069,234
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	2,204,924
看護福祉学研究科 (修士課程) 【臨床福祉学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,615,605
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,749,330
看護福祉学研究科 (博士課程) 【看護学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,979,775
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	3,167,900
看護福祉学研究科 (博士課程)	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,209,911

【臨床福祉学専攻】	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,380,187
心理科学研究科 (修士課程) 【臨床心理学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,648,214
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,781,523
心理科学研究科 (修士課程) 【言語聴覚学専攻】	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,744,286
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,934,286
心理科学研究科 (博士課程) 【臨床心理学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,280,086
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,481,203
心理科学研究科 (博士課程) 【言語聴覚学専攻】	本学出身者	(免除)	750,000	750,000	2,250,000	2,257,800
	他大学出身者	200,000	750,000	950,000	2,450,000	2,473,800
リハビリテーション科学研究科	本学出身者	(免除)	800,000	800,000	1,600,000	1,806,345
	他大学出身者	200,000	800,000	1,000,000	1,800,000	1,944,966

※他大学平均(修了迄)：本学調査による

(6) 奨学金

(2013年度実績)

	本学奨学金(一般奨学生)		日本学生支援機構	
	採用者数	金額(千円)	第一種採用者数	第二種採用者数
薬学部	59	29,500	177	365
歯学部	22	11,000	21	50
看護福祉学部	39	19,500	123	323
心理科学部	27	13,500	67	219
リハビリテーション科学部	7	3,500	24	68
小計	154	77,000	412	1,025
大学院薬学研究科	0	0	1	0
大学院歯学研究科	3	2,400	13	0
大学院看護福祉学研究科	1	600	6	1
大学院心理科学研究科	4	2,400	18	2
リハビリテーション科学研究科	2	1,600	0	3
小計	10	7,000	38	6
合計	164	84,000	450	1,031
歯学部附属歯科衛生士専門学校	5	1,650	2	3
総計	169	85,650	452	1,034

(7) 蔵書統計 (全学総合)

		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
図書所蔵数	和	155,657	157,477	159,504	161,430	162,946	(冊)
	洋	76,258	77,469	78,428	78,380	78,433	
	合計	231,915	234,946	237,932	239,810	241,379	
学術雑誌 所蔵タイトル数	和	1,721	1,731	1,756	1,480	1,421	(種)
	洋	1,231	1,236	1,237	1,216	1,209	
	合計	2,952	2,967	2,993	2,696	2,630	
視聴覚資料 所蔵数	和	5,245	5,354	5,452	5,452	5,483	(点)
	洋	420	451	454	454	1,082	
	合計	5,665	5,805	5,906	5,906	6,565	
資料購入費	図書	23,839	21,388	18,865	16,487	14,921	(千円)
	雑誌	36,384	32,579	29,106	22,214	6,723	
	視聴覚資料	1,614	2,281	1,745	854	3,591	
	合計	61,837	56,248	49,716	39,555	25,235	

(8) 科学研究費補助金

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
新規	申請件数	180	145	133	117	136
	採択件数	28	27	30	32	26
	採択率	15.6% (22.9%)	18.6% (22.1%)	23.1% (28.1%)	27.4% (27.9%)	19.1% (27.0%)
	交付額(千円)	76,772	49,714	85,540	58,900	46,300
新規・継続	申請件数	219	194	180	171	195
	採択件数	67	76	77	86	83
	採択率	30.6% (42.0%)	39.2% (45.3%)	42.9% (48.4%)	50.9% (50.8%)	42.6% (50.1%)
	交付額(千円)	151,708	122,596	161,031	116,240	112,660
	順位	40/522	40/522	44/535	56/557	56/557

* () 内は全国平均採択率

* 交付額は間接経費を含む

* 順位は交付決定時の採択件数ベース(本学/交付私立大学)

(間接経費)

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
新規	件数	28	27	30	32	24
	金額(千円)	18,132	11,616	13,950	17,670	13,890
新規・継続	件数	67	74	74	88	83
	金額(千円)	29,748	27,576	36,351	34,872	33,798

*特定領域研究・萌芽研究は間接経費の措置なし

*転出・転入・廃止に係る譲渡や返還は反映

*分担金に伴う他研究機関への譲渡は反映せず

(9) 私立大学等経常費補助金

(本学の推移)

(単位：千円)

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
一般補助	711,946	691,734	779,133	789,499	714,610
特別補助	227,267	302,397	118,872	99,881	83,213
計	939,213	994,131	898,005	889,380	797,823
順位(本学/交付全大学)	73/542	67/549	78/560	72/560	83/563

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。

2009年度から2013年度の主な事業として、2009年度に歯学部講義棟の耐震補強工事、2010年度に空中歩廊連結階段昇降機設置工事、2011年度に薬学部薬学教育支援室の設置工事、2012年度に中央講義棟増築工事及び歯科内科クリニック棟改修工事、2013年度に大学病院、歯科内科クリニックにおいて、新医療情報システムの構築・整備を行いました。

収入面では、学生生徒等納付金収入は2007年度に学納金改定（入学金を引き下げ、第2学年以降の授業料に付加する改定）を行いました。補助金収入は2008・2009年度に耐震補強工事に係る私立学校施設整備費補助金、2010年度に空中歩廊連結階段昇降機設置工事に係る私立学校施設整備費補助金等、2011年度に学内講義室等マルチメディア教育システム設置工事における私立学校施設整備費補助金の交付を受けました。一方、支出面では、2009年度よりポイント制人件費管理システムを導入し、人事管理を定数管理型から人件費管理型への改革を図り、人件費を削減してきております。教育研究経費支出は教育研究費の質的向上を維持しながらも、教員研究費基礎配付額の30%を削減し、支出の抑制に努めました。

(単位：千円)

科目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
学生生徒等納付金収入	5,882,279	5,981,300	6,101,388	5,816,217	5,999,890
手数料収入	81,818	85,263	86,845	111,652	109,454
寄付金収入	35,360	42,850	44,943	97,260	77,692
補助金収入	1,261,669	1,125,077	991,708	963,547	922,574
資産運用収入	111,357	94,158	76,069	76,033	50,098
資産売却収入	0	19,801	0	0	132,135
事業収入	1,524,501	1,544,196	1,366,179	1,271,572	1,318,579
雑収入	300,165	344,104	290,806	290,686	319,932
前受金収入	900,537	815,450	671,216	744,600	796,207
その他の収入	834,124	718,148	561,990	500,810	418,985
資金収入調整勘定	△1,602,178	△1,413,236	△1,245,339	△982,369	△1,233,522
当年度資金収入合計	9,329,632	9,357,110	8,945,805	8,890,008	8,912,024
前年度繰越支払資金	5,720,026	5,573,562	6,510,004	7,407,382	6,913,154
収入の部合計	15,049,658	14,930,672	15,455,809	16,297,390	15,825,178
人件費支出	5,266,275	5,242,337	4,971,495	4,959,044	5,139,051
教育研究経費支出	2,101,505	2,181,244	2,096,168	1,909,017	2,059,979
管理経費支出	485,227	485,760	488,266	498,608	453,680
施設関係支出	411,887	89,826	79,765	2,413,436	88,829
設備関係支出	342,088	230,725	207,421	449,597	597,323
資産運用支出	950,000	0	0	0	49,007
その他の支出	634,718	789,978	707,254	596,219	1,540,272
資金支出調整勘定	△715,602	△599,203	△501,942	△1,441,685	△620,136
当年度資金支出合計	9,476,097	8,420,668	8,048,427	9,384,236	9,308,005
次年度繰越支払資金	5,573,562	6,510,004	7,407,382	6,913,154	6,517,173
支出の部合計	15,049,658	14,930,672	15,455,809	16,297,390	15,825,178

注：1) 資金収入調整勘定は期末未収入金（学納金や事業収入等の未収額）・前期末前受金（新入生の入学時納入金等）、資金支出調整勘定は期末未払金（経費・購入代金の未払額）・前期末前払金（購入代金の前払額）です。

(2) 消費収支計算

消費収支計算書は、学生生徒等納付金等の「帰属収入」から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状態、内容により経営状況を把握するものです。

帰属収支差額は、「帰属収入」と「消費支出」の差額ですが、その比率はプラスで推移しております。一方、消費収支差額は、2009年度の歯学部講義棟の耐震補強工事等の事業による基本金組入により支出超過となっていました。2010年度、2011年度と2年連続収入超過となりました。2012年度には中央講義棟増築工事及び歯科内科クリニック棟改修工事を実施、2013年度は前年度の未組入額を基本金に組入れたことにより支出超過となりました。

(単位：千円)

科 目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
学生生徒等納付金	5,882,279	5,981,300	6,101,388	5,816,217	5,999,890
手数料	81,818	85,263	86,845	111,652	109,454
寄付金	52,690	53,076	68,529	119,655	97,469
補助金	1,261,669	1,125,077	991,708	963,547	922,574
資産運用収入	111,357	94,158	76,069	76,033	50,098
資産売却差額	0	0	0	0	83,128
事業収入	1,524,501	1,544,196	1,366,179	1,271,572	1,318,579
雑収入	300,165	344,104	290,806	290,686	319,932
帰属収入合計 (a)	9,214,479	9,227,174	8,981,523	8,649,362	8,901,124
基本金組入額合計	△477,224	△197,047	△185,391	△1,360,958	△1,512,971
消費収入の部合計	8,737,255	9,030,127	8,796,132	7,288,404	7,388,153
人件費	5,262,968	5,248,566	4,903,454	4,928,271	5,169,101
教育研究経費	3,006,411	3,077,241	2,983,208	2,776,729	3,019,744
管理経費	553,700	552,848	553,445	566,376	535,781
資産処分差額	1,757	18,486	6,044	49,120	28,217
徴収不能額	15,103	1,290	6,077	10,903	6,493
消費支出の部合計 (b)	8,839,940	8,898,431	8,452,228	8,331,399	8,759,336
当年度消費収支差額	△102,685	131,696	343,905	△1,042,995	△1,371,184
前年度繰越消費支出超過額	10,411,042	10,513,726	10,382,031	10,038,126	△11,081,121
翌年度繰越消費支出超過額	10,513,726	10,382,031	10,038,126	11,081,121	△12,452,305
帰属収支差額 (a-b)	374,540	328,743	529,296	317,963	141,788

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、負債、基本金および消費収支差額の状況を前年度末の額と対比して示します。財務状況や経営分析に使用する重要なものです。

資産の部合計では微減傾向ですが、有形固定資産（建物）及び流動資産の減少が要因となっております。また、固定負債は退職給与引当金であり、流動負債は主に前受金、未払金および預り金です。

(単位：千円)

科 目	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度	2013年度
固定資産	25,764,753	25,092,324	24,486,776	26,388,948	26,041,504
有形固定資産	18,183,123	17,505,242	16,870,078	18,769,484	18,405,597
その他の固定資産	7,581,630	7,587,081	7,616,698	7,619,464	7,635,907
流動資産	6,293,548	7,118,467	7,933,196	7,349,260	7,093,410
資産の部合計 (a)	32,058,301	32,210,791	32,419,972	33,738,208	33,134,914
固定負債	1,902,461	1,904,016	1,831,300	1,795,853	1,822,786
流動負債	1,646,630	1,468,823	1,221,424	2,257,144	1,485,129
負債の部合計 (b)	3,549,091	3,372,839	3,052,724	4,052,997	3,307,915
基本金	39,022,936	39,219,983	39,405,374	40,766,332	42,279,303
繰越消費支出超過額	10,513,726	10,382,031	10,038,126	△11,081,121	△12,452,304
負債・基本金・消費収支差額計	32,058,301	32,210,791	32,419,972	33,738,208	33,134,914
正味資産 (a-b)	28,509,209	28,837,952	29,367,248	29,685,211	29,826,999

2. 2013 年度決算の概要

(1) 資金収支計算書

収入に関しては、学生生徒等納付金収入が予算比 52 万円増、手数料収入が予算比 2,545 万円増、寄付金収入が予算比 4,969 万円増、補助金収入が予算比 1 億 2,682 万円減、資産運用収入が予算比 2,590 万円の減、資産売却収入が予算比 5,023 万円増、雑収入が予算比 2,199 万円減となりました。また、事業収入は予算比 2,415 万円減となりました。結果、収入の計は予算比 1 億 5,281 万円減の 89 億 1,202 万円となりました。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比 1 億 1,111 万円減、教育研究経費支出が予算比 2 億 8,280 万円減、管理経費支出が予算比 1,053 万円減となりました。施設設備関係支出については、各学部の講義室、実験室等の設備改修工事を行いました。支出の計は予算比 3 億 4,467 万円減の 93 億 800 万円となり、次年度繰越支払資金は予算比 1 億 9,186 万円増の 65 億 1,717 万円となりました。

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予算	決算	差異	科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,999,365	5,999,890	△525	人件費	5,250,165	5,139,051	111,114
手数料収入	84,000	109,454	△25,454	教育研究経費支出	2,342,783	2,059,979	282,804
寄付金収入	28,000	77,692	△49,692	管理経費支出	464,218	453,680	10,538
補助金収入	1,049,403	922,574	126,829	施設関係支出	119,116	88,829	30,287
資産運用収入	76,000	50,098	25,902	設備関係支出	714,733	597,323	117,410
資産売却収入	81,899	132,135	△50,236	資産運用支出	0	49,007	△49,007
事業収入	1,342,739	1,318,579	24,160	その他の支出	1,541,095	1,540,272	823
雑収入	341,928	319,932	21,996	予備費	(9,769)		
前受金収入	808,817	796,207	12,610		40,231		40,231
その他の収入	378,335	418,985	△40,650				
資金収入調整勘定	△1,125,650	△1,233,522	107,872	資金支出調整勘定	△819,660	△620,136	△199,524
計(当年度収入)	9,064,836	8,912,024	152,812	計(当年度支出)	9,652,681	9,308,005	344,676
前年度繰越支払資金	6,913,154	6,913,154	0	次年度繰越支払資金	6,325,309	6,517,173	△191,864
収入の部合計	15,977,990	15,825,178	152,812	支出の部合計	15,977,990	15,825,178	152,812

(2) 消費収支計算書

帰属収入は予算比 1 億 2,721 万円減の 89 億 112 万円となり、基本金組入額は予算比 1 億 318 万円増の 15 億 1,297 万円となりました。その結果、消費収入は予算比 2 億 3,039 万円減の 73 億 8,815 万円となりました。

また、消費支出は予算比 3 億 6,748 万円減の 87 億 5,933 万円となり、消費収支差額(=消費収入-消費支出)は 13 億 7,118 万円の支出超過、翌年度繰越消費支出超過額は 124 億 5,230 万円となりました。一方、帰属収支差額(=帰属収入-消費支出)は対予算比 2 億 4,027 万円増の 1 億 4,178 万円となりました。

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予算	決算	差異	科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	5,999,365	5,999,890	△525	人件費	5,211,166	5,169,101	42,065
手数料	84,000	109,454	△25,454	教育研究経費	3,306,756	3,019,744	287,012
寄付金	53,000	97,469	△44,469	管理経費	552,607	535,781	16,826
補助金	1,049,403	922,574	126,829	資産処分差額	10,000	28,217	△18,217
資産運用収入	76,000	50,098	25,902	徴収不能額	0	6,493	△6,493
資産売却差額	81,899	83,128	△1,229	予備費	(3,705)		
事業収入	1,342,739	1,318,579	24,160		46,295		46,295
雑収入	341,928	319,932	21,996	消費支出の部合計	9,126,824	8,759,336	367,488
帰属収入合計	9,028,334	8,901,124	127,210	当年度消費支出超過額	△1,508,275	△1,371,184	
基本金組入額合計	△1,409,785	△1,512,971	103,186	前年度繰越消費支出超過額	△11,081,121	△11,081,121	
消費収入の部合計	7,618,549	7,388,153	230,396	翌年度繰越消費支出超過額	△12,589,396	△12,452,305	

(3) 貸借対照表

総資産 331 億 3,491 万円のうち、固定資産は 260 億 4,150 万円、流動資産は 70 億 9,341 万円となりました。流動資産のうち現金預金は 65 億 1,717 万円です。

総負債 33 億 791 万円のうち、固定負債は 18 億 2,278 万円、流動負債は 14 億 8,512 万円となりました。なお、長期・短期の借入金はなく、未払金等が減ったため負債額が前年対比 7 億 4,508 万円減少しました。これらの結果、総資産から総負債を差し引いた正味資産は 298 億 2,699 万円となり、前年対比 1 億 4,178 万円減少しました。

また、減価償却の累計額は、231 億 7,657 万円であり、基本金の当期組入額は 15 億 1,297 万円で組入合計額は 422 億 7,930 万円となりました。

(資産の部)

(単位：千円)

科 目	2013 年度末	2012 年度末	増 減
固定資産	26,041,504	26,388,948	△347,444
有形固定資産	18,405,597	18,769,484	△363,887
その他の固定資産	7,635,907	7,619,464	16,443
流動資産	7,093,410	7,349,260	△255,850
資産の部合計 (a)	33,134,914	33,738,208	△603,294

(負債・基本金・消費収支差額の部)

科 目	2013 年度末	2012 年度末	増 減
固定負債	1,822,786	1,795,853	26,934
退職給与引当金	1,822,786	1,792,736	30,050
長期未払金	0	3,116	△3,116
流動負債	1,485,129	2,257,144	△772,015
未払金	623,252	1,446,360	△823,107
前受金	812,107	760,840	51,267
預り金	49,770	49,945	△175
負債の部合計 (b)	3,307,915	4,052,997	△745,081
第 1 号基本金	41,548,303	40,035,332	1,512,971
第 3 号基本金	100,000	100,000	0
第 4 号基本金	631,000	631,000	0
基本金の部合計	42,279,303	40,766,332	1,512,971
翌年度繰越消費支出超過額	12,452,304	11,081,121	△1,371,183
負債・基本金・消費収支差額合計	33,134,914	33,738,208	△603,294
正味資産 (a - b)	29,826,999	29,685,211	△141,788

	2013 年度末	2012 年度末
減価償却額の累計額	23,176,579	22,286,163
基本金未組入額	39,402	1,025,845

注 記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

…未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

…退職金の支給に備えるため、期末要支給額 2,518,560,800 円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額の 100% を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

…満期保有目的有価証券の評価基準は原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

…最終仕入原価法である。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

…預り金及び仮払金に係る収入と支出は相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

23,176,578,769 円

4. 徴収不能引当金の合計額

0 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

該当なし

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

39,401,699 円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券（施設設備引当特定資産・退職給与引当特定資産・減価償却引当特定資産・第3号基本金引当資産）の時価情報

(単位 円)

種 類	当年度（平成 26 年 3 月 31 日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	2,196,081,804	2,296,169,800	100,087,996
（うち満期保有目的の債券）	(1,696,355,000)	(1,726,028,000)	(29,673,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	500,000,000	483,400,000	△16,600,000
（うち満期保有目的の債券）	(500,000,000)	(483,400,000)	(△16,600,000)
合 計	2,696,081,804	2,779,569,800	83,487,996
（うち満期保有目的の債券）	(2,196,355,000)	(2,209,428,000)	(46,273,000)

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

①平成 21 年 4 月 1 日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リ ー ス 料 総 額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	24,728,126 円	9,916,150 円
その他の機器備品	28,459,933 円	20,397,220 円

8. 関連当事者との取引等の状況

(単位：円)										
属性	役員法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
					役員の兼任等	事実上の関係				
理事	小澤優一	—	—	弁護士	—	—	顧問料(注1)	1,260,000	—	—
監事	大萱生哲	—	—	弁護士	—	—	顧問料(注1)	1,890,000	—	—

(注1) 取引価格については、第三者との取引価格を参考にしている。

3. 財産目録の概要

I 資産総額	33,134,914,279 円
II 負債総額	3,307,915,528 円
III 正味財産	29,826,998,751 円

2014年3月31日現在

科目	内訳	金額(円)
一 資産額		33,134,914,279
(一) 基本財産		18,405,596,615
1 土地	当別キャンパス 290,863.28 m ² 札幌あいの里キャンパス 28,576.31 m ² 石狩キャンパス 1,155.00 m ² 計 320,594.59 m ²	423,741,327 1,376,521,535 9,996,000 1,810,258,862
2 建物	当別キャンパス 79,797.13 m ² 札幌あいの里キャンパス 17,514.34 m ² 石狩キャンパス 418.33 m ² 計 97,729.80 m ²	9,708,934,271 2,205,565,005 38,868,793 11,953,368,069
3 構築物		243,948,332
4 図書		2,969,858,386
5 教具・校具・備品	55,146 点	1,422,661,660
6 車輛		5,501,306
(二) 運用財産		14,729,317,664
1 現金・預金		6,517,173,310
2 積立金	引当特定資産、学術研究奨励基金	7,100,000,000
3 貯蔵品	医療用薬品、医療材料	35,014,319
4 電話加入権		5,529,579
5 未収入金	医療収入、退職金財団、補助金等	537,593,237
6 長期貸付金	奨学金	530,377,900
7 短期貸付金	学生援助資金	1,037,000
8 仮払金		2,592,319
二 負債額		3,307,915,528
1 固定負債	退職給与引当金	1,822,786,120
2 流動負債		1,485,129,408
(1) 未払金	経常経費	623,252,530
(2) 前受金	学生生徒等納付金、施設設備利用料等	812,106,996
(3) 預り金	税金等	49,769,882

4. 財務比率の推移

(1) 財務比率

①消費支出比率

帰属収入で消費支出を賄っているかという経営分析指標である帰属収支差額比率は、5年間平均3.8%でした。主な収入および支出の5年間の平均比率は、以下のとおりです。

●収入（対帰属収入％）：学生生徒等納付金 67.4%、補助金 10.4%、事業収入（医療収入等） 14.8%

●支出（対帰属収入％）：人件費 58.1%、教育研究経費 33.9%、管理経費 6.0%

△高い方がよい ▼低い方がよい ～どちらともいえない

分類	比率名	算式	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	全国平均
経営状況はどうか	消費支出比率 ▼	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	95.9	96.4	94.1	96.3	98.4	96.6
	帰属収支差額比率 △	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	4.1	3.6	5.9	3.7	1.6	3.1
収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率 ~	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	63.8	64.8	67.9	67.2	67.4	52.6
	寄付金比率 △	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.6	0.6	0.8	1.4	1.1	2.2
	補助金比率 △	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	13.7	12.2	11.0	11.1	10.4	10.3
支出構成は適切であるか	人件費比率 ▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	57.1	56.9	54.6	57.0	58.1	51.3
	教育研究経費比率 △	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	32.6	33.3	33.2	32.1	33.9	35.9
	管理経費比率 ▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	6.0	6.0	6.2	6.5	6.0	7.1
	借入金等利息比率 ▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	基本金組入率 △	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	5.2	2.1	2.1	15.7	17.0	10.1
	減価償却費比率 ~	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	10.9	10.9	11.1	11.2	11.9	9.7
収支のバランスはとれているか	人件費依存率 ▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	89.5	87.7	80.4	84.7	86.2	97.6
	消費収支比率 ▼	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	101.2	98.5	96.1	114.3	118.6	107.8

②貸借対照表関係比率

△高い方がよい ▼低い方がよい ～どちらともいえない

分類	比率名	算式	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	全国平均
自己資金は充実されているか	自己資金構成比率 △	$\frac{\text{基本金}+\text{消費収支差額}}{\text{負債}+\text{基本金}+\text{消費収支差額}}$	88.9	89.5	90.6	88.0	90.0	84.9
	消費収支差額構成比率 △	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{負債}+\text{基本金}+\text{消費収支差額}}$	-32.8	-32.2	-31.0	-32.8	-37.6	-15.0
	基本金比率 △	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.6	99.9	99.9	97.5	99.9	96.7
長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率 ▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{基本金}+\text{消費収支差額}}$	90.4	87.0	83.4	88.9	87.3	101.5
	固定長期適合率 ▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{基本金}+\text{消費収支差額}+\text{固定負債}}$	84.7	81.6	78.5	83.8	82.3	91.6
資産構成はどうか	固定資産構成比率 ▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	80.4	77.9	75.5	78.2	78.6	86.1
	流動資産構成比率 △	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	19.6	22.1	24.5	21.8	21.4	13.9
	減価償却比率 ~	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	60.0	62.2	64.4	56.9	63.0	48.6
負債に備える資産が蓄積されているか	流動比率 △	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	382.2	484.6	649.5	325.6	477.6	232.1
	前受金保有率 △	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	612.2	789.1	1,100.5	908.6	802.5	343.0
	退職給与引当預金率 △	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	53.0	52.9	54.8	55.8	54.9	56.9

	内部留保 比率	△	流動資産+その他固定資産-負債総額 負債+基本金+消費収支差額	32.2	35.2	38.5	32.4	34.5	25.6
負債の割合はどうか	固定負債 構成比率	▼	固定負債 負債+基本金+消費収支差額	5.9	5.9	5.6	5.3	5.5	9.1
	流動負債 構成比率	▼	流動負債 負債+基本金+消費収支差額	5.1	4.6	3.8	6.7	4.5	6.0
	総負債比率	▼	固定負債+流動負債 総資産	11.1	10.5	9.4	12.0	10.0	15.1
	負債比率	▼	固定負債+流動負債 基本金+消費収支差額	12.4	11.7	10.4	13.7	11.1	17.8

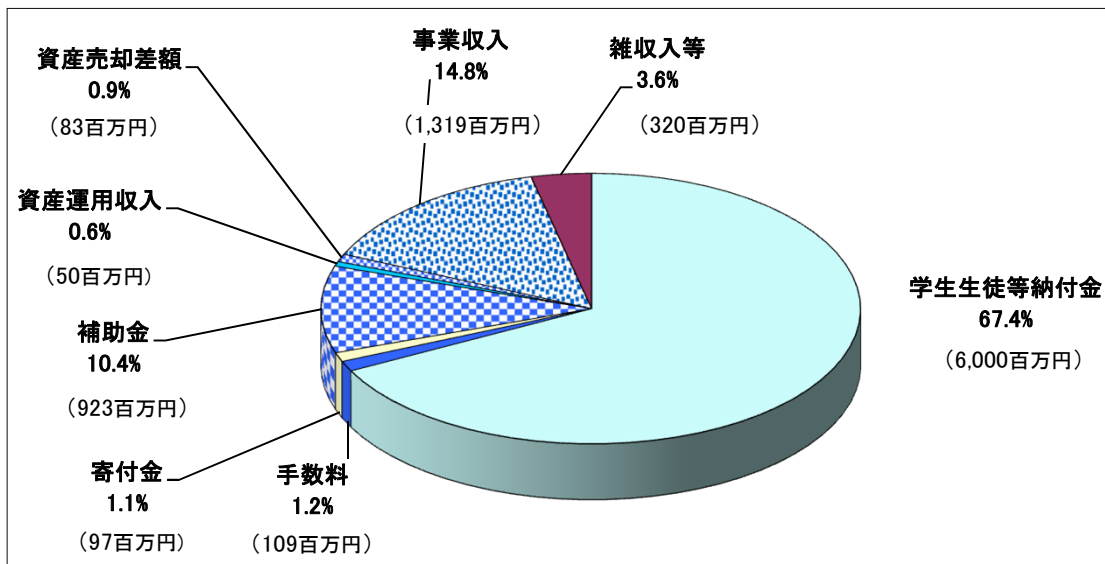
※全国平均：全国 539 法人平均（2012(平成 24)年度）、同系平均：医歯他複数学部 30 法人平均（2012(平成 24)年度）

※日本私立学校振興・共済事業団「平成 25 年度版今日の私学財政」を参考に作成

参考資料：決算の推移

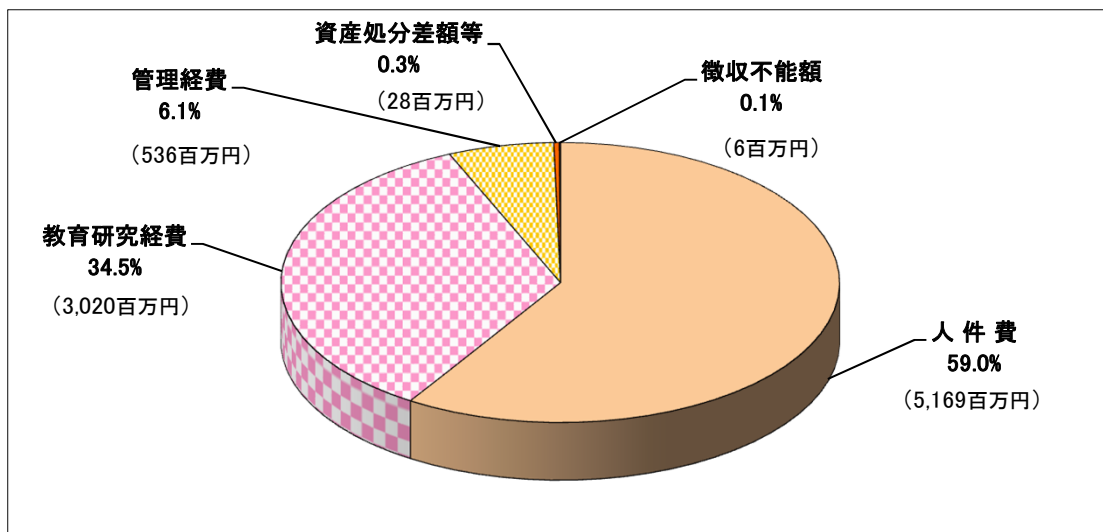
1. 2013(平成25)年度 消費収支の構成比率

①帰属収入 8,901百万円



②基本金組入額 1,513百万円

③消費支出 8,759百万円

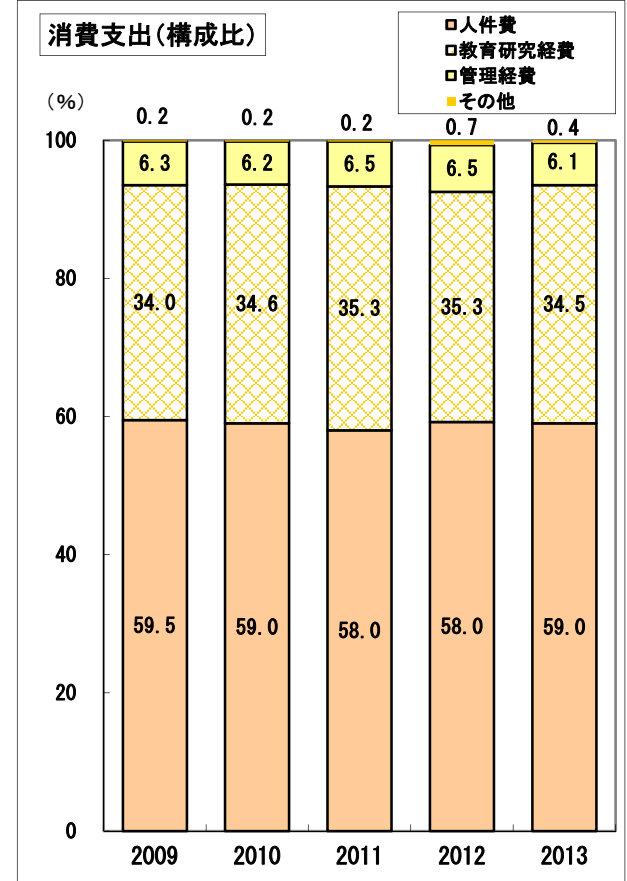
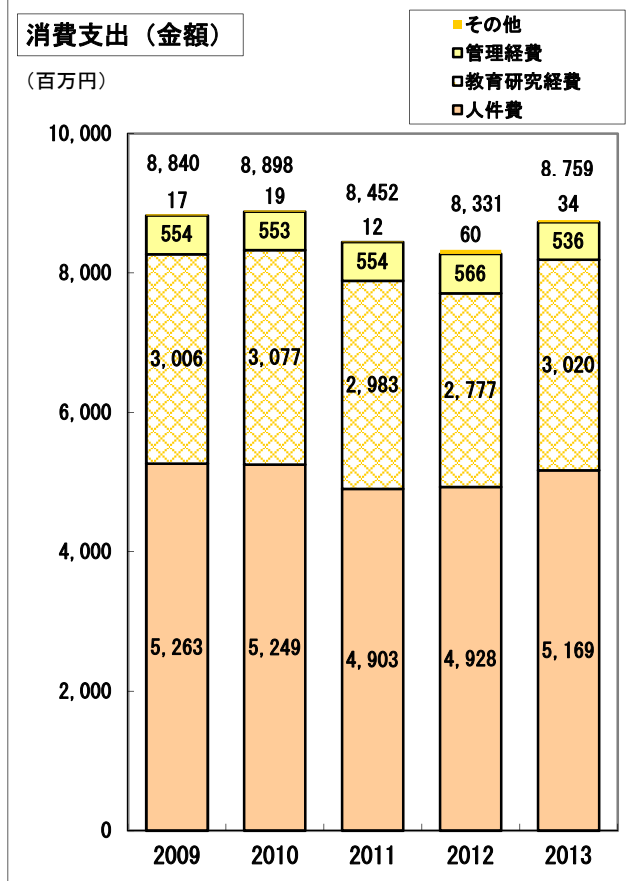
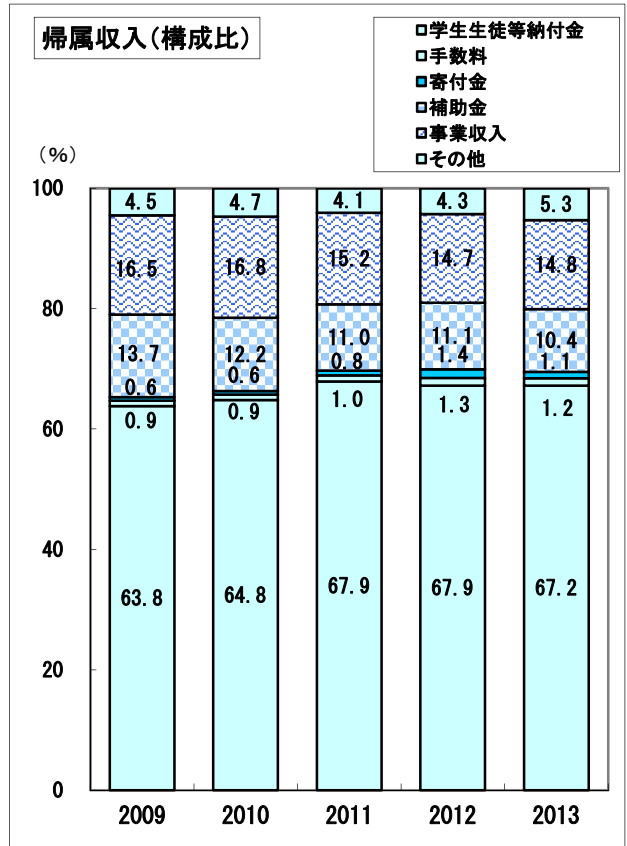
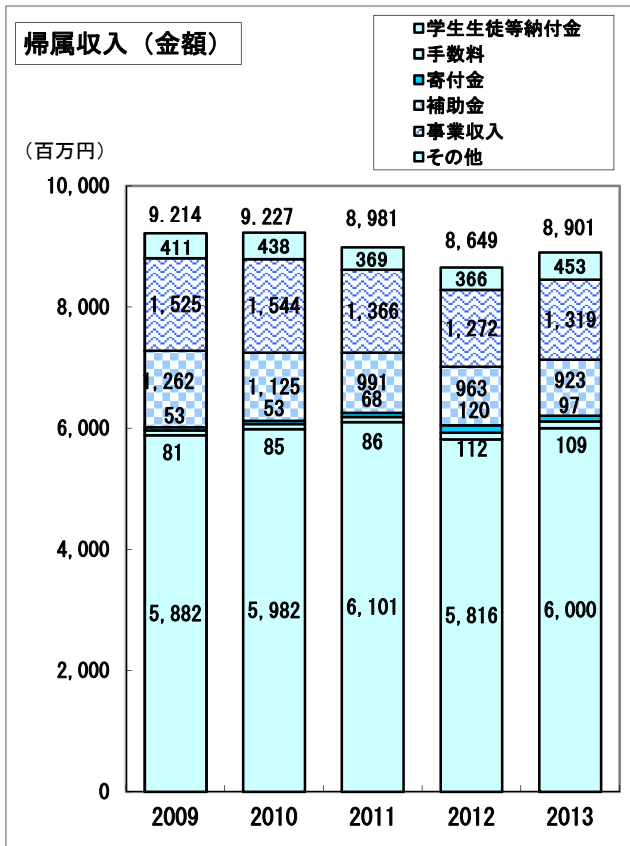


消費収支差額 (①-②-③) Δ 1,371百万円

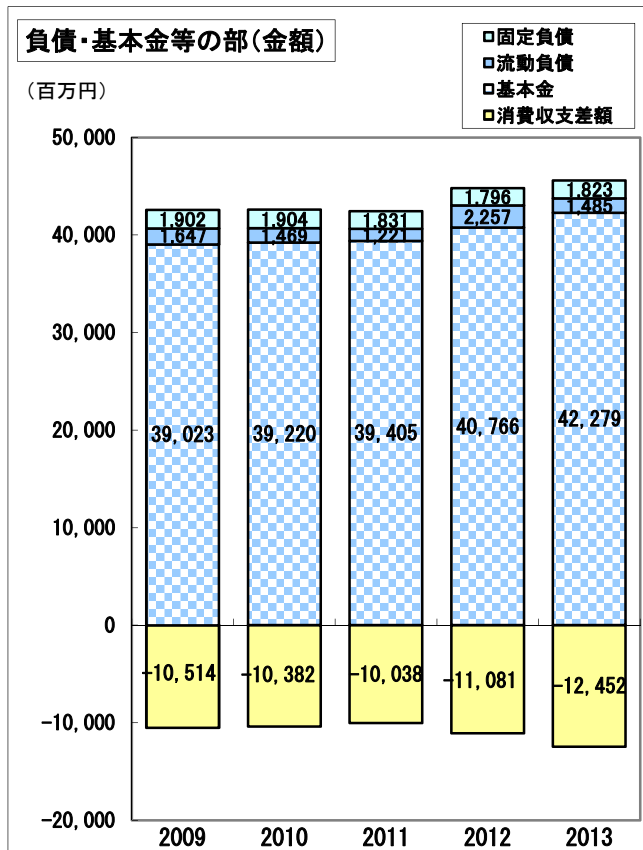
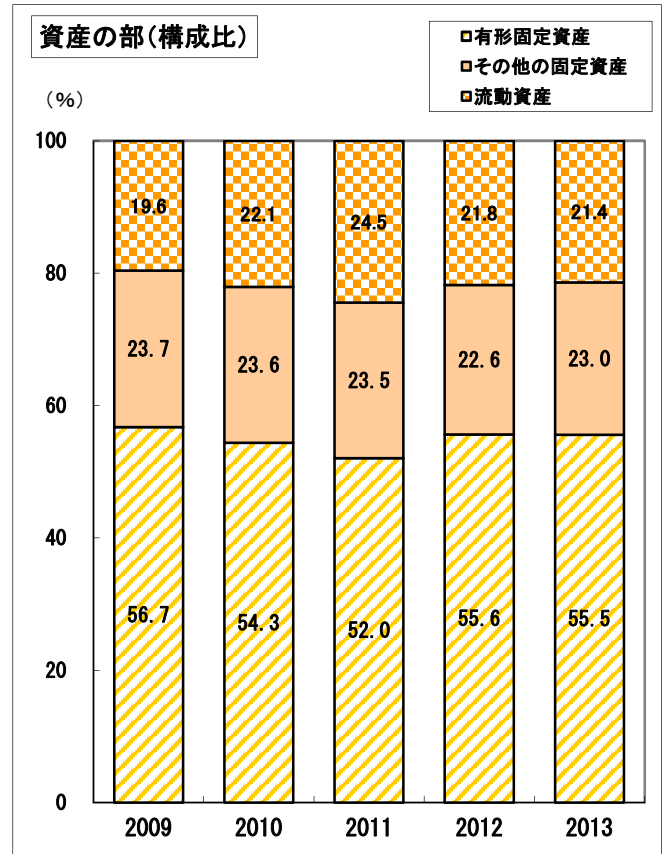
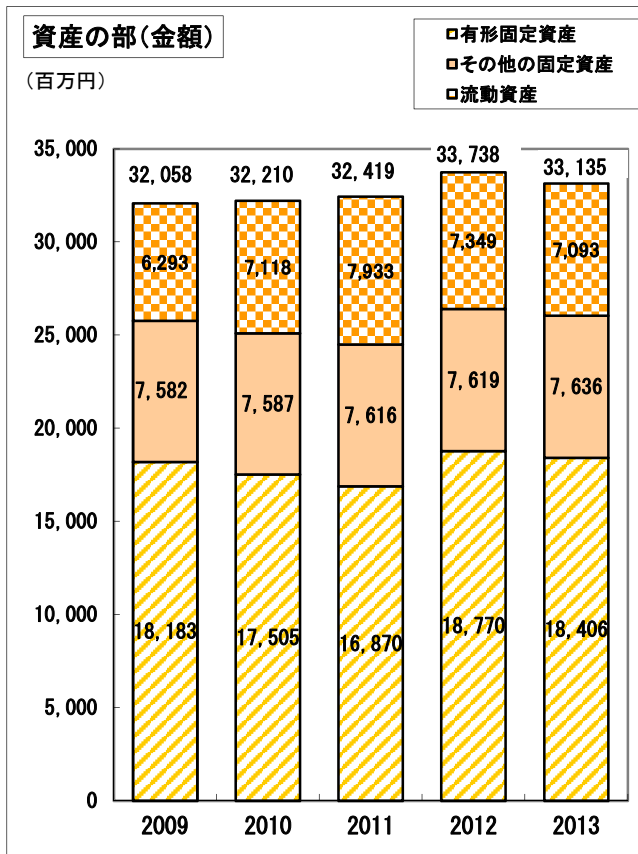
帰属収支差額 (①-③) 142百万円

(2) 財務状況のグラフ

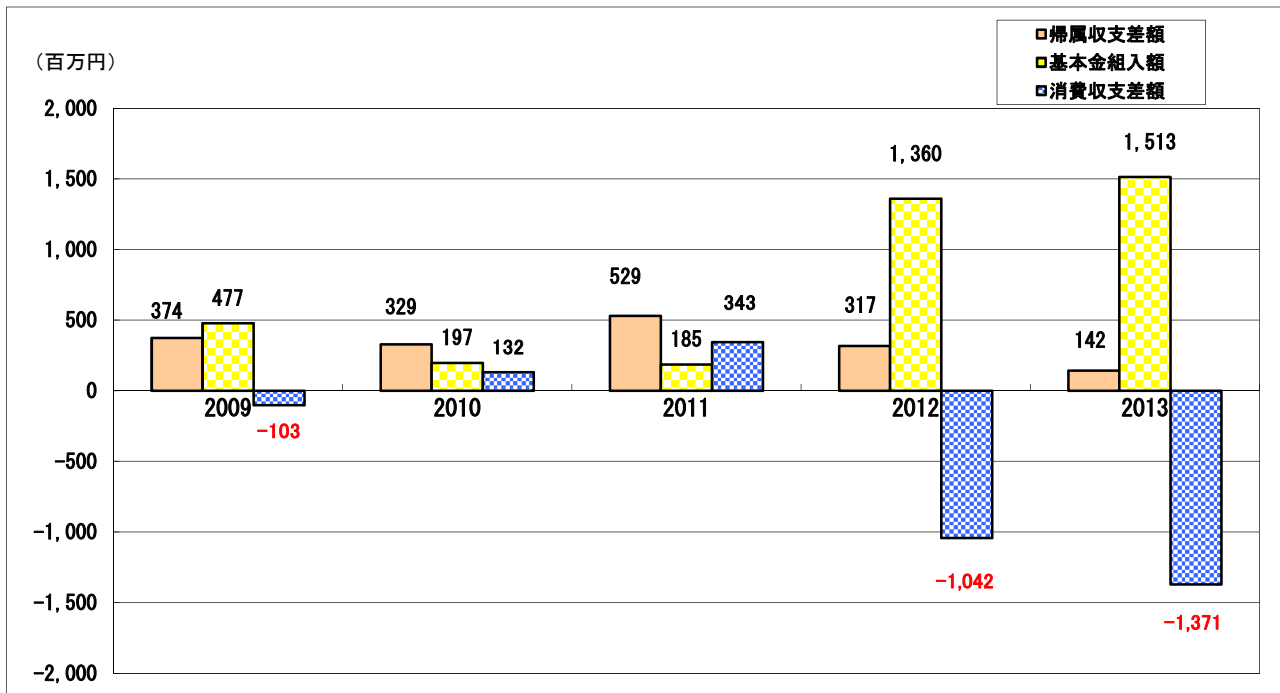
①消費収支計算書



②貸借対照表



③ 帰属収支差額



(注) 帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出

消費収支差額 = 消費収入 - 消費支出

(消費収入 = 帰属収入 - 基本金組入額)